

淡路支部ニュース

2022. 1. 25
No. 344

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-1313 洲本市五色町
鮎原西1-1 たかたクリニクス内
☎0799-3012272

新年のごあいさつ

コロナ禍の今こそ医療費抑制策を転換へ

兵庫県保険医協会淡路支部 支部長 高田 裕



大の対応に島内の先生方も苦慮されたことと思います。秋以降は、ワクチンの普及により一定感染拡大も落ち着きましたが新たな変異株の出現もあり、今後まだ予断の許さない状況が続いております。

2022年の新春にあたり、会員の比様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は一昨年同様、新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。昨秋までその感染拡大

そのような状況下、自粛等に伴う受診抑制が続く、医療機関の経営は厳しさを増しています。このことは、県保険医協会が昨年実施した「新型コロナウイルス感染症関連緊急アンケート」の結果を見

ても明らかです。同調査では、長引く医療機関の収支悪化により、医療提供体制の縮小による患者の命と健康への悪影響について指摘されております。

地域医療を守るうえでも政府には速やかに医療機関の減収補填を求め、このコロナ禍において、医療費抑制策を転換し、公営医療を提供する医療機関の運営を安定させることこそ、国民が安心して医療を受

けられることにつながる確かな道であります。さて、本年は診療報酬改定の年です。前回ウェブ配信のみでの開催となった新点数研究会は、3月下旬に会場開催でも行う予定です。その他の支部企画や幹事会等も多くの場合、ウェブで議論が行える

環境が整いつつあります。昨年10月には、コロナによる各種制限が緩和され、また島内の感染状況も落ち着いたことから、2年ぶりに長尾和宏先生(尼崎市)をお招きしてリアルでの支部総会記念講演会を開催しました。リアル、ウェブ開催ともそれぞれ長所・短所があることは承知しておりますが、ウェブ開催の継続を望む声が多いので今後も併開催を考

えております。淡路支部は、様々な組織・個人と協力しあい、ともに地域医療・保健活動における信頼・絆の核となり、くらしと医療・福祉を支え続ける確かな存在でありたいと考えています。本年も何卒よろしく願い申し上げます。

第43回淡路支部総会

開業医が取り組むCOVID-19の診断と治療



COVID-19の対応について映像も交えて分かりやすく解説した

淡路支部は10月23日、洲本市健康福祉館で、第43回支部総会を開催した。2020年度活動のまとめと2021年度の方針を確認し、高田支部長をはじめ支部役員が再任されたほか、洲本市の木村一郎先生、南あわじ市・歯科の佐藤圭先生を新幹事に選出した（4面に支部役員一覧を掲載）。

記念講演として「コロナ禍における開業医の役割～尼崎での在宅医療の実践にも触れて」をテーマに、長尾和宏先生（医療法人社団裕和会理事長/尼崎市・長尾クリニック院長）が講演、医師、歯科医師、看護師など26人が参加した。

長尾先生は、新型コロナウイルス感染拡大のなか、在宅医療のスペシャリストとして、また、尼崎での1000人を超えるコロナ感染患者の診断、治療に取り組まれた経験から、開業医がCOVID-19の診断と早期治療に関わることで医療逼迫が解消されると強調した。

（3面に感想文を掲載）

第43回淡路支部総会記念講演 感想文

COVID-19患者の対応を学ぶ

COVID-19患者さんを多く診療され、在宅治療も積極的に行われている長尾和宏先生のご講演を拝聴しました。

先生はこれまで1200人ものCOVID-19患者さんを診断され、その治療や在宅診療をされておられます。

たくさんのお患者さんを実際に診療してきた経験に基づいたお話は、説得力がありまし

た。また、自院で6000人に新型コロナウイルス接種もされたとのことでした。

COVID-19の治療については、イベルメクチンやデカドロンの使用、在宅酸素療法

等、多様にされています。認知症患者さんへの在宅治療の大変な御苦労もされていました。

また、イベルメクチンを実際に使われて、

効果を確かされています。イベルメクチンに関しては、北里大学にも行かれ、同業の開発者でノーベル賞を取られた北里大学の教授から直々に勉強もさせていただきました。

私はこれまでCOVID-19の診断をしたら、保健所に報告するだけで、その後は患者さんにはほぼノータッチに近い状態でした。長尾先生は保健所からの連絡待ちや、入院病床が満床で治療も受けられず、行き場のない困っている患者さんをどうにかしようとして、孤軍奮闘されていたことを知りました。これだけたくさんの方のCOVID-19患者さんに関わって、COVID-19で死亡させた患者さん

は1人もいないということに驚かされました。長尾先生のご講演を拝聴して、COVID-19に対する考えが変わりました。診断ができるようになり、抗体療法もあり、イベルメクチンまたは新規内服薬を実際に開業医でも処方できるようになれば、インフルエンザのようにCOVID-19を診療することができると思いました。

これまでCOVID-19を5類感染症にするのは危険だと思っておりましたが、先生のお話を伺って5類にすることの必要性を理解できました。

【洲本市・三木内科医院
三木隆彦】



講師の長尾和宏先生(尼崎市)

淡路支部役員（任期 2021 年 10 月～2023 年 7 月）

<支部役員>

役 職	氏 名	地 区	協会役職（評議員は医科のみ）
支 部 長	高田 裕	洲 本	副議長
副支部長	児玉 和也	洲 本	
〃	栗田 哲司	淡 路	評議員
幹 事	木村 一郎	洲 本	新
〃	小出 昌伸	洲 本	
〃	雑賀 聰	洲 本	
〃	津本 定也	洲 本	
〃	三木 隆彦	洲 本	
〃	三根 一乗	洲 本	議長
〃	大橋 明	淡 路	評議員
〃	中谷 正史	淡 路	予備評議員
〃	松井 祥治	淡 路	理事
〃	岡野 浩和	淡 路	
〃	大森 弘之	南あわじ	予備評議員
〃	穀内 勇夫	南あわじ	
〃	友清龍一郎	南あわじ	
〃	橋田 友孝	南あわじ	理事
〃	伏見 竜治	洲 本・歯	
〃	佐藤 圭	南あわじ・歯	新
〃	西中 英伸	南あわじ・歯	
〃	萩原 一宏	南あわじ・歯	

【新点数研究会（医科・入院外）のご案内】

日時 3月26日（土）15時～

会場 淡路市立しづかホール

※他会場等詳細につきましては、今後協会新聞・ホームページ

（<http://www.hhk.jp/>）にてご案内予定です。